

2018年度 関西学生女子ヨット選手権大会

期 日 : 平成30年(2018年)6月23日(土) ~ 平成30年(2018年)6月24日(日)
 開催地 : 兵庫県西宮市 新西宮ヨットハーバー (〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜4-16-1)
 共同主催 : 関西学生ヨット連盟、兵庫県セーリング連盟
 協 力 : 新西宮ヨットハーバー株式会社

レース公示

1. 規則

- 1.1 本大会には、『セーリング競技規則』に定義された規則を適用する。
- 1.2 『関西学生ヨット連盟規約』、『470学連申し合わせ事項』、『スナイブ級学連申し合わせ事項(ただし、スナイブ級学連申し合わせ事項I.2は適用しない)』、『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』を適用する。
- 1.3 【DP】はプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する規則を意味する。
- 1.4 規則40『個人用浮揚用具』を次のとおりとする。
 - (a) 【DP】次のように変更する。
『水上にいる間、衣類又は個人用装備を一時的に変えたり整えたりする場合を除き、競技者は個人用浮揚用具を着用しなければならない。ウェット・スーツとドライ・スーツは、個人用浮揚用具ではない。この項は規則第4章前文を変更している。』
 - (b) 国際スナイブ級規則「制限規定」52.14に次を追加する。
『個人用浮揚用具には、「制限規定」52.14にかかわらず、浮力40N以上の個人用浮揚用具も含める。』

2. 競技種目と競技方法

- 2.1 競技種目は、国際470級と国際スナイブ級とする。
- 2.2 競技方法は個人戦形式とする。

3. 参加資格及び申込み

3.1 参加資格

(1) 競技者は、次の項目を満たしていなければならない。

(a) 関西学生ヨット連盟規約第6条に定められた競技出場資格を満たしていること。

関西学生ヨット連盟規約：第6条 連盟主催、主管及び公認ヨット競技の出場資格は、以下のとおりとする。

(1) 加盟大学に学籍のある者。ただし、通信教育部生は除く。(2) 出場可能年数は入学時より4年間とする。

(b) 2018年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。

(c) スポーツ安全保険に加入していること。

(d) 国際470級の競技者は日本470協会の2018年度団体登録を完了している大学ヨット部に所属していること。

(e) 国際スナイブ級の競技者は、2018年度日本スナイブ協会会員であること。

(2) 艇の監督及びコーチ、支援艇・応援艇の艇長は、2018年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。

(3) 1艇につき3名までの登録(エントリー)を認める。但し、同じ競技者が複数の艇に登録することは認めない。

(4) 艇の乗員は1艇につき2名とし、その艇に登録(エントリー)した競技者での交替を行なって良い。

ただしヘルムスマンの交替は認められない。

(a) 水上で乗員交替をする場合は、届け出たチーム(所属する大学)の支援艇等を利用すること。

(b) 主催団体では、乗員交替用の舟艇は準備しない。

3.2 参加申込

大学の代表者は、本大会の競技者を、すべて取り纏めて大学単位で申し込むこととする。

(1) 6月13日(水)中に郵送するもの

(a) 参加申込書-1(振込合計表) (b) 参加申込書-2(競技者名簿) (c) 以下の添付すべき書類

・参加申込書に記載した競技者全員の『2018年度(公財)日本セーリング連盟会員証の写し』

・スポーツ安全保険の『保険証書の写し』(参加申込書に記載した競技者の名前が記載されたもの)

郵送先：関西学生ヨット連盟 女子委員長：尾井恵子(省略します)

(2) 6月13日(水)中にeメール添付で送付するもの

(a) 参加申込書-1(振込合計表) (b) 参加申込書-2(競技者名簿)

メール送付先

役 職	氏 名	メールアドレス	役 職	氏 名	メールアドレス
①委員長	菅原 睦		③会計	古橋 潤樹	kansai-yacht.kaikei@outlook.jp
②女子委員長	尾井 恵子		④事務局長	廣島 伸一	

(3) 登録・受付時に提出するもの

(d) 参加申込書-3(支援艇・応援艇 許可申請書)

登録・受付時に提出すると同時に、備え付けの「支援艇・応援艇登録リスト」に必要事項を記入すること。

また、当該艇において施設利用料が必要な場合は、大会期間中を含め、

・陸揚げする艇は、日数×920円、

・陸揚げしない艇は、日数×2700円 を提出時に支払うことで、登録・受付を完了する。

- 3.3 3.2(1)(2)の締切り日以降の申込みについては「レイトエントリー扱い」とし、平成30年6月15日(金)17時まで限り、所定の参加料に対し50%のペナルティーフィーを支払うことで参加を認める。
上記期限を過ぎてからの参加申込み(書類の不足又は不備を含む)及び競技者の変更は認めない。
- 3.4 参加申込書-3(支援艇・応援艇 許可申請書)の内、「応援艇 許可申請書」については、大会期間中に陸上本部に提出することで申請を認めることがある。
- 3.5 3.2(1)(c)の「添付すべき書類」については、平成30年度関西学生ヨット連盟主催の公式戦の参加申込時に既に提出した競技者分は提出不要とする。
- 3.6 参加申込締切後の競技者の変更
(1) 疾病、傷害等の特別な場合のみ認めるものとし、その扱いについては所定の書式により提出しなければならない。
(a) 提出期限：平成30年6月23日(土)08:30まで
(b) 提出先：平成30年度 関西学生ヨット連盟女子委員長：尾井恵子
(2) 上記の期限以降、また疾病、傷害等の特別な場合以外に競技者の変更を希望する場合は、速やかに陸上本部に届け出て、許可を得た場合に変更が可能となる。ただし、その場合は当該艇はオープン参加艇の扱いとなる。

4. 参加料

- 4.1 参加料等は次のとおりとする。
(1) 参加料：1艇 7,000円 (識別番号代を含む)
(2) 施設使用料：1艇 920円/日(税込) ※平成30年6月23日(土)～6月24日(日)は不要。
- 4.2 振込期日：平成30年6月14日(木) 午前中
- 4.3 振込みが期日を過ぎた場合は、平成30年6月18日(月)午前中までに所定の参加料に対し50%のペナルティーフィーを追加で支払うことを条件に本大会への参加を認める。平成30年6月18日(月)午前中までに追加分を含めた全額の振込みがなされない場合は本大会への参加を認めない。
- 4.4 振込先：◎三井住友銀行 明石支店(普) 7045592
口座名義：関西学生ヨット連盟 会計 藤田 雄也 (カシガケイヨットレミ カケイ フジタウヤ)
- 4.5 大会成立の有無にかかわらず、登録・受付け後は参加料の返金はしない。

5. 艇

- 5.1 艇は、原則として自己所有艇とするが、競技者が手配したチャーター艇も認める。
- 5.2 国際スナイプ級の艇は、2018年度SCIRA登録を完了していること。
- 5.3 国際スナイプ級で、中古艇(学連標準仕様以外のスナイプ)を使用する場合は、計測証明書の日付が平成27年6月22日以前であること。ただし、計測証明書の日付が平成27年6月23日以降の場合は、オープン参加として参加を認める。

6. セール

- 6.1 【DP】艇のセールには、識別番号を、【添付図A】に示す位置に、メイン・セールの上部にスターボード側を上にして、重ならないように貼付けなければならない。
- 6.2 【DP】国際470級は、レース委員会が準備した赤色の菱形を、メイン・セールに付けなければならない。位置は国際470級クラス規則C10.4(a)(2)を参照し、識別番号の下部に付けること。
- 6.3 識別番号シール及び割当表は、登録(受付)時に配布する。
- 6.4 国際スナイプ級のジブの材質は最少160g/m²でなくてもよい。

7. 日程

- 7.1 登録・受付：6月23日(土) 07:40～08:30
7.2 艇長会議：6月23日(土) 08:40～08:55
7.3 予定されるレース日程とレース数は次のとおりとする。

日付	6月23日(土)	6月24日(日)	合計
国際470級	4 レース	3 レース	7 レース
国際スナイプ級	4 レース	3 レース	7 レース

- 7.5 最初の国際470級の予告信号の予定時刻は、6月23日(土)は09:55、6月24日(日)は09:25とし、国際スナイプ級はこれに続く。
- 7.6 6月23日(土)は16:00、6月24日(日)は13:00より後に予告信号を発しない。
- 7.7 表彰式は、7月1日(日) 関西学生ヨット個人選手権大会の閉会式にて併せて実施する。

8. 計測

艇は、使用する艇の艇体に関する有効な計測証明書(470級はMEASUREMENT FORMも含む)を登録(受付)時に提示しなければならない。

9. 登録(受付)

艇は、大会本部で次の書類を提示し、登録を完了しなければならない。

- (1) 競技者の『(公財)日本セーリング連盟会員証(原本または写し)』
(2) 監督・コーチの『(公財)日本セーリング連盟会員証の原本又はコピー』
(3) 支援艇、応援艇の艇長の『2018年度(公財)日本セーリング連盟会員証原本又は写し』
(4) 国際470級は、『Measurement Certificate including Measurement Form(MC/MF)(原本)』。ただし、2011年7月29日以前に登録された艇は、上記に加え『計測登録証明書(原本)』も提示しなければならない。
(5) 国際スナイプ級は、『計測証明書』及び競技者の『SCIRA登録会員証(原本)』又は日本スナイプ協会各水域フリートキャプテンが発行する『平成30年度SCIRA登録証明書(原本)』。

10. 帆走指示書

- 10.1 帆走指示書は、6月16日(土)までに関西学生ヨット連盟ホームページで公開する。
- 10.2 帆走指示書に対する質問は、6月20日(水)中に書面にて大会事務局に送付すること。
◎ 大会事務局連絡先：平成30年度 関西学生ヨット連盟 女子委員長：尾井 恵子（参加申込み先と同じ）
- 10.3 質問に対する回答は、原則として公式掲示板に掲示する。

11. 開催地

【添付図B】に、レース・エリア、大会ハーバーのおおよその場所を示す。

12. コース

- 12.1 トラペゾイド・コースを使用する。(第3マーク、第4マークはゲートマーク。オフセットマークは設置しない)
- 12.2 レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す見取り図、および帆走すべきコースを示す文字は、帆走指示書で指定される。

13. 得点

- 13.1 大会が成立するためには、1レースを完了することを必要とする。
- 13.2 艇の得点は、完了したレースが4レース以下の場合にはレース得点の合計とし、5レース以上完了した場合は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 13.3 参加艇数は、オープン参加艇を含む今大会の当該クラスに登録(受付)を済ませた艇の数とする。

14. 安全規定

出艇申告、帰着申告方式を採用する。

15. 支援艇・応援艇

15.1 支援艇と応援艇の区別

(1) 支援艇：

監督、コーチ又はその指示する者が乗艇するエンジン付きボート及びクルーザーで、水上においてレース中ではない自校に所属する競技者又は艇に対し、以下の支援ができる。

- (a) 競技者へのアドバイス、応援。
- (b) 艇の交換装備の積み込み、装備交換の援助、破損した装備の引き取り。
- (c) 飲料水、食事の競技者への供与、ゴミの引き取り。

(2) 応援艇：

レースの観覧・応援専用のエンジン付きボート及びクルーザーで、競技者又は艇への援助は原則一切できないものとする。

- (a) 競技者へのトイレの供与は認める。その場合でもトイレ使用に関する以外で競技者と接触することは禁ずる。
- (b) 他校との共用は認められる。

- 15.2 支援艇・応援艇を持ち込む場合は、「参加申込書-3」（支援艇・応援艇許可申請書）を受付時に提出しなければならない。支援艇・応援艇には受付時に「支援艇・応援艇許可証」が発行され、レース委員会から識別旗が貸与される。
- 15.3 【DP】支援艇・応援艇は水上において常に識別旗を掲揚するとともに、「支援艇・応援艇許可証」及び帆走指示書に記載されるレース委員会からの指示事項を守らなければならない。この項に違反した支援艇・応援艇に対しては、以後の出艇を許可しない場合がある。また、当該支援艇・応援艇に関わる艇に対してペナルティーが課せられる。
- 15.4 レース委員会艇に『数字旗8』が掲揚された場合、支援艇・応援艇は、レースをしているエリアを含む全エリアにおいて、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。
- 15.5 応援艇のみ参加申込期限後の追加登録を認めるが、できる限り事前に登録すること。
- 15.6 支援艇・応援艇はレース中であるにもかかわらず、常に一般船舶の動きに目を配り、一般船舶の航行を妨げてはならない。
- 15.7 支援艇・応援艇は、ハーバー内においては、引き波を立てないようデッドスローで航行しなければならない。
- 15.8 【DP】支援艇・応援艇の乗員、および支援者は、水上にいる間、衣類又は個人用装備を一時的に変えたり整えたりする場合を除き、個人用浮揚用具を着用しなければならない。ウェット・スーツとドライ・スーツは、個人用浮揚用具ではない。また故意、不注意を問わず、水中にゴミを捨ててはならない。

16. 賞

- 16.1 クラス別の第1位～第3位の艇に賞状を、また第1位の艇に賞品を与える。ただし、各クラス参加艇数が3艇以下の場合には、当該クラスの第1位の艇に賞状及び賞品を与えることとする。
- 16.2 クラス別の上位の艇を、「2018年度 全日本学生女子ヨット選手権大会」への出場艇として推薦する。
- 16.3 16.2の推薦を受けた艇は、平成30年7月6日(金)までに、女子委員長に出場の意思表示を行わなければならない。

17. 責任の否認

競技者は、完全に自己の責任でこのレガッタに参加する。規則4「レースをすることの決定」参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物的損傷又は人身傷害若しくは死亡によるいかなる責任も負わない。

18. 大会期間中の競技者の肖像権

本大会期間中の艇、競技者に関連する写真・ビデオ等の全ての著作物、映像に関する権利は、主催団体に帰属する。

19. 問い合わせ先

本大会に関する問い合わせ先は、以下のとおりとする。

◎ 平成30年度 関西学生ヨット連盟 女子委員長：尾井恵子(参加申込み先と同じ)

20. 追加情報

国際470級、国際スナイブ級とも『マストの上部に浮力体を付けること』に関してはクラス規則どおりとする。

21. 関係情報

今大会は、「2018年度 関西学生ヨットオープンレガッタ」と併せて実施するものとします。

2018年度 関西学生女子ヨット選手権大会

参加申込書-2 競技者名簿

申込締切：平成30年6月13日(水)

1. 参加種目

艇種 (いずれかに○)	国際470級 ・ 国際スナイプ級
----------------	------------------

2. 所属(大学名)

所属		ホームポート	
部長名		監督名	(JSAF会員番号)

3. 登録(エントリー)競技者名

(注)JSAF 会員No.と SCIRA 会員 No.は2018年度の会員 No.を記入下さい。

	選手氏名	学年	学部	JSAF 会員 No.	SCIRA 会員 No.	備考
1. 代表者	フリガナ					携帯番号:
2.	フリガナ					
3.	フリガナ					

※ 会員 No 欄が "申請中" 等、番号不明の競技者の参加は認めません。

※ 代表者のみ、携帯番号を記入下さい。(緊急連絡時に使用します。)

4. 艇体番号・セール番号

※ 1つの大学から4艇以上出場する場合は、4艇目以降の識別番号は、レース委員会にて割当てます。

3艇目までの識別番号は貴大学にて記入してください。

艇体番号	セール番号	識別番号
計測証明書日付(スナイプ)	平成 年 月 日	メーカー名 学連仕様か

中古艇(学連標準仕様以外のスナイプ)は、計測証明書の日付が平成27年6月22日以前であること。

5. 艇の搬入

艇・搬入予定	月 日	艇・搬出予定日	月 日	日数	日間
--------	-----	---------	-----	----	----

※ 新西宮ヨットハーバーに艇を搬入する場合は、必ず記入下さい。

私は、セーリング競技規則及びこの大会に適用される全ての規則に従うことに同意します。また私は、この大会に完全に自己のリスクで参加しており、主催団体が、死亡やけが、あるいは艇及び装備の紛失、あるいは損傷に対して何らの責任も負わないことを了解します。私は、レース中、自分自身に適用される保険を有していることを宣言します。

艇の代表者 直筆署名

注1. 参加申込書の送付先(平成30年6月13日(水) 必着です。期日後の申込みは受け付けません。)

平成30年度 関西学生ヨット連盟 女子委員長: 尾井恵子

注2. 1つの大学から複数の出場艇がある場合には、出場艇ごとに1枚作成して下さい。参加費用は合計して振込んで下さい。

2018年度 関西学生女子ヨット選手権大会

競技者変更届

1. 参加種目

艇種 (いずれかに○)	国際470級 ・ 国際スナイプ級
----------------	------------------

変更届締切：平成30年6月23日(土)08:30

以降の競技者変更にもこの用紙を使用する。ただし、その場合は当該艇はオープン参加艇の扱いとなる。

2. 所属（大学名）

所属		ホームポート	
----	--	--------	--

3. 艇体番号・セール番号

艇体番号		セール番号		識別番号	
------	--	-------	--	------	--

4. 変更する競技者名

(注) JSAF 会員No.と SCIRA 会員 No.は2018年度の会員 No.を記入下さい。

会員 No 欄が ”申請中” 等、番号不明の選手の参加は認めません。

	競技者氏名	(学年)	(学部等)	JSAF 会員 No.	SCIRA 会員 No.	備考
変更前						



変更後						
変更の理由:						

	競技者氏名	(学年)	(学部等)	JSAF 会員 No.	SCIRA 会員 No.	備考
変更前						



変更後						
変更の理由:						

平成 30 年 月 日

上記の通り競技者の変更をお届けします。

艇の代表者名 : _____